

資料7

令和4年10月7日

交通政策審議会交通体系分科会

第20回地域公共交通部会資料

一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会

副会長兼地域交通委員長 田中亮一郎



一般社団法人
全国ハイヤー・タクシー連合会
Japan Federation of Hire-Taxi Associations

タクシー業界の取組①

乗合タクシー

乗合タクシーは、ワゴン型や一般のタクシー車両を使った乗合型の公共交通です。

地域のタクシー事業者は、過疎化・高齢化が急速に進行する中で地域住民の生活交通を維持するため、乗合タクシーの運行に積極的に取り組んでいます。主に、バスが運行できない過疎地域等において運行していますが、このほかに空港と周辺市町村を結ぶ空港型等もあります。

乗合タクシーには、バスのように定時・定路線で運行する路線定期型のほか、路線及び運行時刻は定めず事前予約による自宅から訪問先等の利用者の要望に応じてドア・ツー・ドア等で運行するデマンド型もあります。

これらの乗合タクシーは、全国で4,768コース、14,617台（令和3年3月末現在）が運行しています。



計 4,768コース 14,617台

過疎型

3,822コース

過疎地における廃止バス路線の代替などに対応

空港型

334コース

空港と周辺市町村を結ぶ

観光型

328コース

地域の観光スポットを効率よく周遊

都市型

93コース

都市部において駅などを出発点として一定のエリア内を運行

福祉型

40コース

マイカーが利用できない移動困難な高齢者などの通院等お出かけ支援に対応

団地型

37コース

住宅団地と駅などを結ぶ

その他 114コース

タクシー業界の取組②



スマートフォンによる配車

スマートフォンのアプリによる配車サービスが広がっています。スマートフォンのGPS機能等を活用し、効率的にお客様をお迎えに上がります。

また、令和元年10月からは、配車アプリを活用した事前確定運賃のサービス提供を開始しました。

このほか相乗り等の新たなサービスの検討を行っています。



観光タクシー

各地で観光ガイドタクシーの認定を受けた乗務員が、観光で訪れたお客様に地域の観光スポットや特産物等をご案内しています。

また、各事業者やタクシー協会により主要な観光スポット等を巡る多彩な観光コースをご用意しています。事前予約により、時間制運賃やルート別の定額運賃でご利用いただけます。



タクシーデリバリー

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う食料・飲料の運送に係るニーズの増加を踏まえ、貨物自動車運送事業法に基づき、運送する品目を食料・飲料に限定した上でレストラン等のメニューをタクシーがお届けします。



定額タクシー

空港などの施設への送迎や観光ルート別に、あらかじめ設定した定額の運賃でお客様をお送りします。



羽田空港定額運賃

(注) 令和4年4月現在。有料道路利用料は除く。



妊婦応援タクシー

事前登録をした妊婦のお客様に対し、陣痛等が始まった場合に必要な研修を受けた乗務員がかりつけの病院までお送りします。

出産時だけでなく、定期検診などの際にも安心してご利用いただけます。



JR九州・西鉄・第一交通 交通事業者連携

交通事業の厳しい経営環境と一大転換期

「競争から“共創”に」

「輸送サービス連携」が本質 = 真の交通事業者連携

MaaSを手段として

例)JR九州・西鉄・第一交通連携「北九州いってきま〜すチケット」

JR九州 西小倉〜門司港 【フリーきっぷ】	+	西鉄バス 北九州都市圏フリー 【北九州市、中間市、行橋市、苅田町】	+	福岡県民限定! 北九州魅力満喫バスポート or 第一交通タクシー タクシークーポン400円分 【北九州市、中間市、遠賀郡】
通常価格1,960円 <small>(税込)</small> が → 1,200円<small>(税込)</small>				

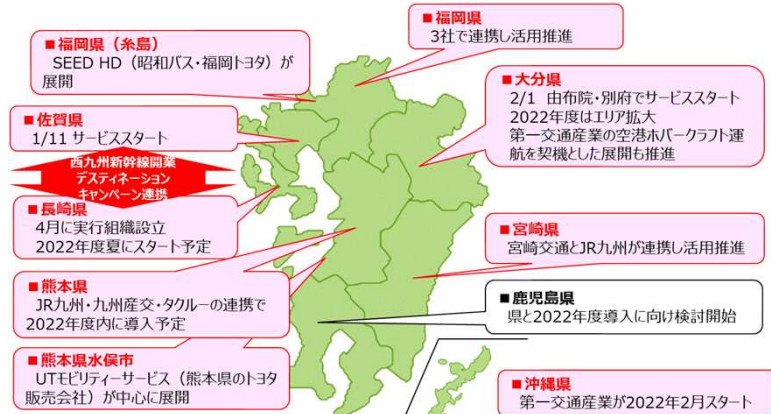
※JR九州の西小倉・門司港間を往復、および西鉄バス北九州都市圏1日フリー乗車券を利用した場合



MaaSアプリによる3社の輸送サービス連携
+ 地域コンテンツ(=観光)連携
⇒ 観光・経済振興策との連携

九州地域における広域連携へ

九経連・交通事業者・自治体によるMaaS研究会の発足



各県で交通事業者連携の推進

九州MaaS広域連携組織 (現研究会)

九経連・九州観光推進機構・九州運輸局と協働

- ・現行の各県の官民による実行組織が連携した組織体
- ・コスト・リソース・開発力・データ活用・ナレッジを一体的に集約
- ・幅広いプレイヤーによるコスト分担など持続可能なスキームを目指す
- ・既存の各県実行組織も存置し各県単位での検討・運営を実施

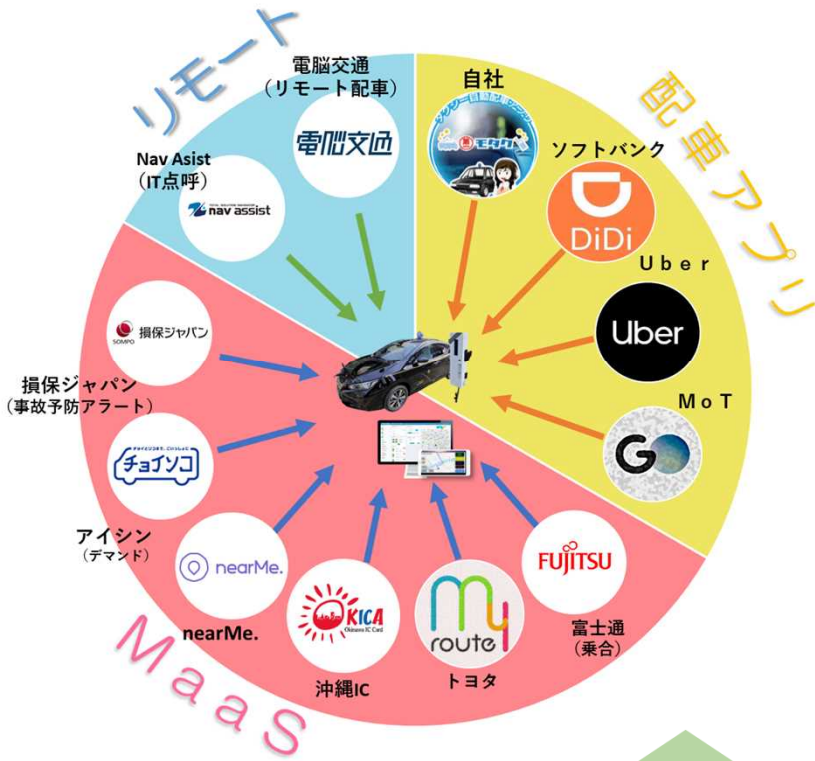
宮崎県 実行組織	佐賀県 実行組織	大分県 実行組織	長崎県 実行組織	… 今後展開する 各県にも設置
-------------	-------------	-------------	-------------	--------------------

各県交通事業者・自治体・観光団体などで構成

官民一体となった「共創」スキームを構築⇒広域MaaS先進地域へ

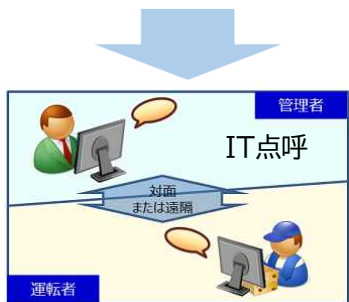
第一交通産業としての取組

目指すデジタル体制図



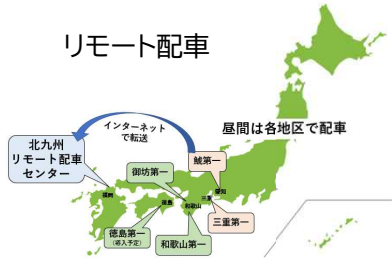
<課題>

- ・夜間業務者不足・高齢化
- ・配車室の人員不足
- ・管理職の負担増加



労務改革

リモート配車



<目指す姿>
業務効率化による
労務負担の軽減

<課題>

- ・タブレット混在による事故リスク
- ・支払手数料の増加
- ・固定費の増加



情報集約

<目指す姿>
1タブレットによる
車内・業務のスリム化
(配車システム・アプリ・スマートメーター)

地域交通の維持と利便性の向上

継続的な支援
(規制緩和・資金投入など)

サービス拡充



MaaS社会実装化へ参画



その他
九州MaaS
福岡MaaS
大分空港MaaS
東田モビリティ協議会
など

カーボンニュートラルの取組



電動化プロジェクト始動
沖縄県初路線バスのEV化
グリーンイノベーション基金事業採択
2022年度100台超のBEV導入

DX推進



デジタル求人サイト「WAY」
障がい者手帳アプリ「MIRAIRO ID」
令和3年度「運行管理高度化検討会」
遠隔点呼 (IT点呼) の実証実験参加
スマートメーター開発・実証